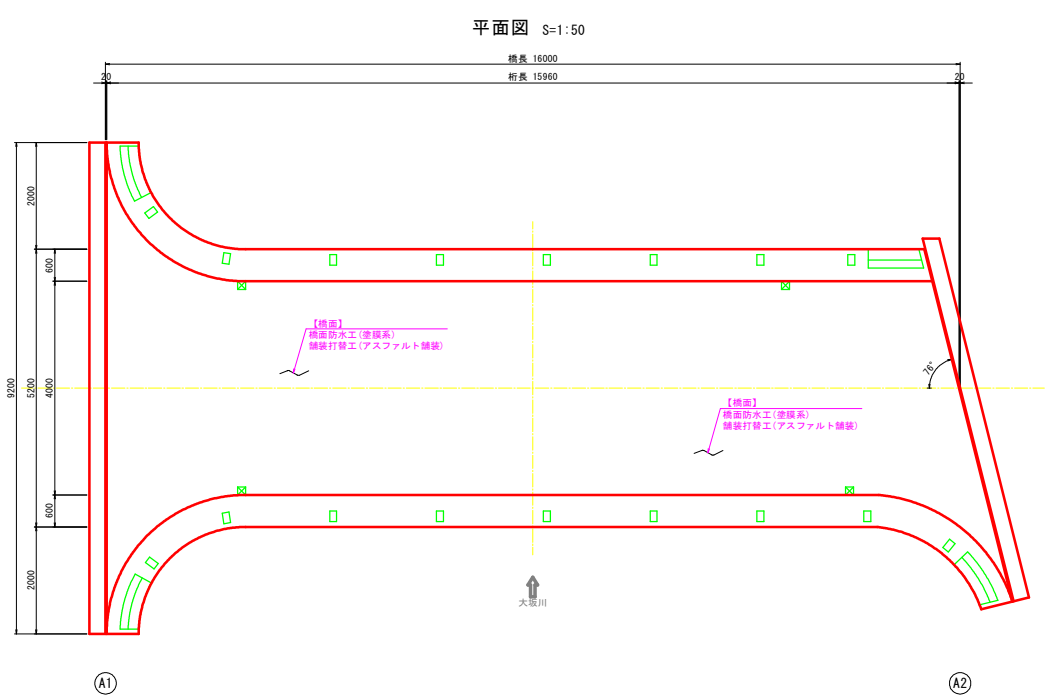
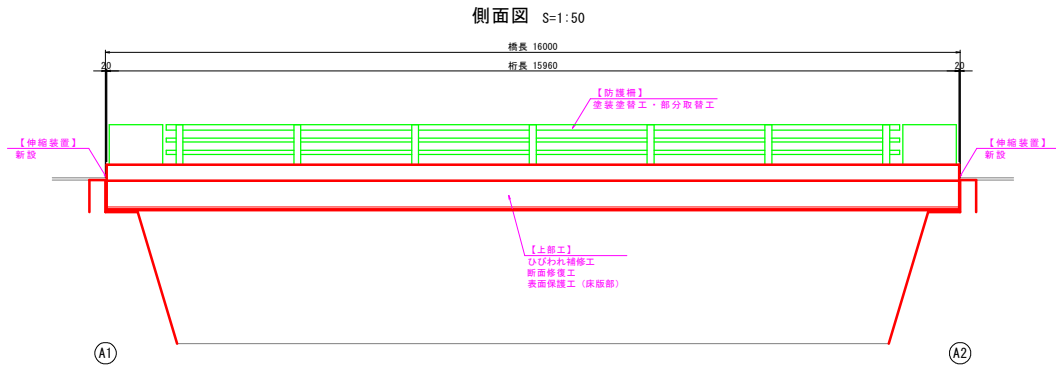


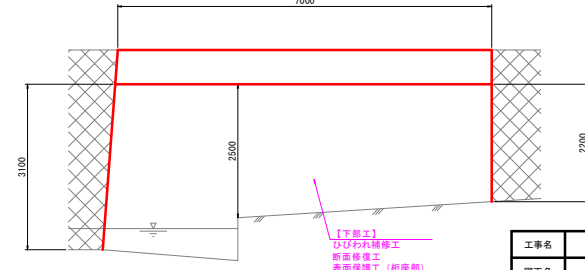
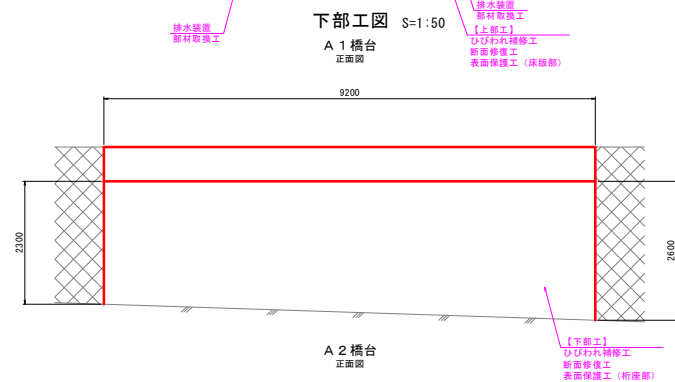
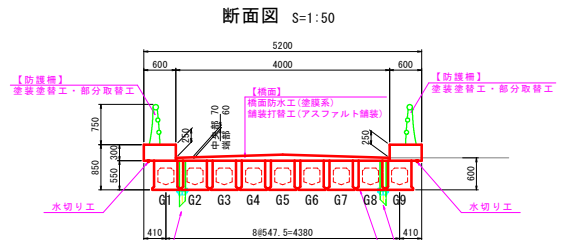
堤原橋1 補修工一般図



補修概要一覧表

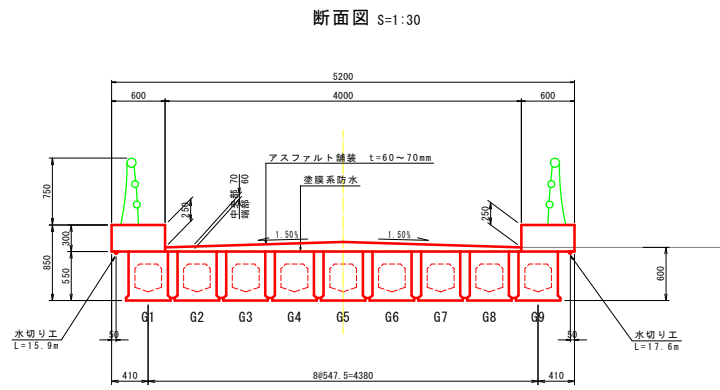
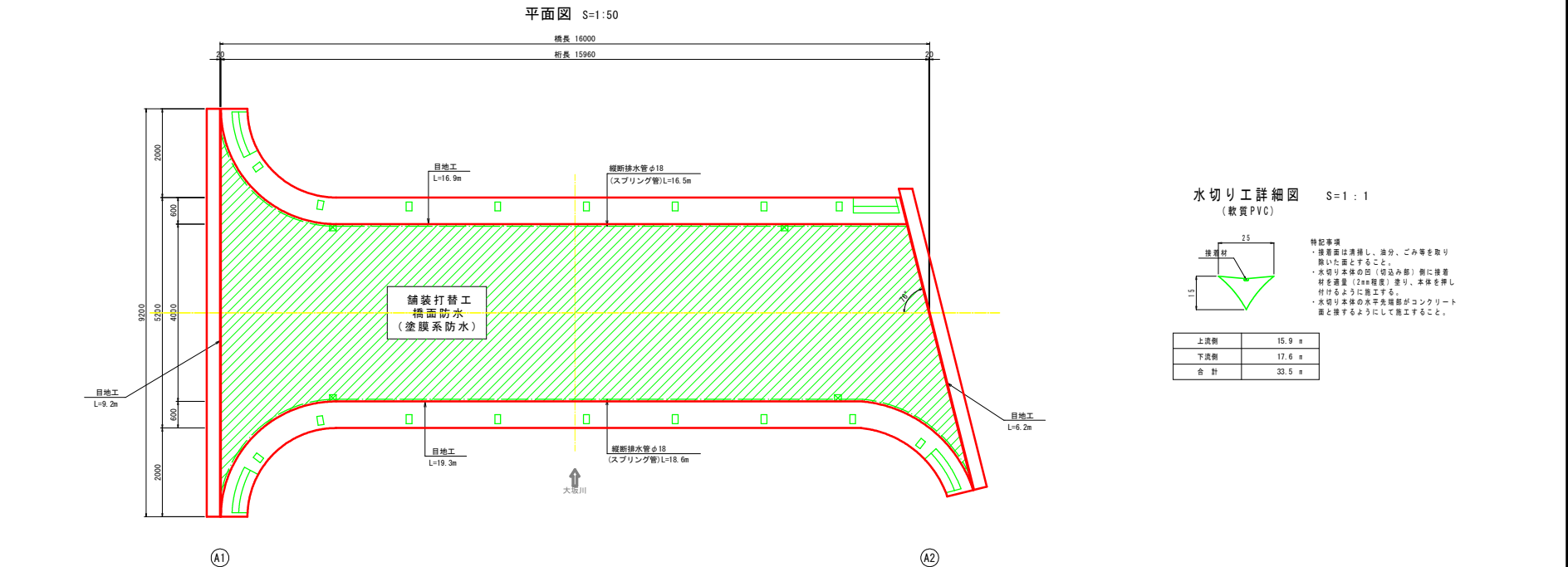
部 位	工法概要	備 考 ・ 材 料
舗 装	舗装打替え工	アスファルト舗装
橋面防水工	橋面防水工	塗膜系防水
伸縮部	伸縮装置設置工	ゴム劣化取替工
防護欄	部材取替工・塗装塗装工	Rc・鋼塗装系
排水施設	部材取替工	排水管 (VP100A)
上部工	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工: エポキシ樹脂3種
		ひびわれ充填工: シーラント系
地盤、床版、主桁、親柱	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	表面保護工 (床版部)	表面含浸工 (シラン系・鉄筋腐食抑制型)
	水切り工	軟質PVC型
下部工	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工: エポキシ樹脂1種
橋台	ひびわれ充填工	ポリマーセメント
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	表面保護工 (桁座部)	表面含浸工 (シラン系)

【適用基準等】
・道路橋示方書・同解説 (平成24年3月)
・コンクリートのひび割れ調査・補修・補強指針-2013-
・表面保護工法 設計施工指針 (案) [工種別マニュアル編]

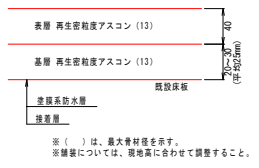


工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務
図面名	堤原橋1 補修工一般図
作成年月日	
縮尺	図示
図面番号	1 / 12
会社名	
事業者名	みやこ町 都市整備課

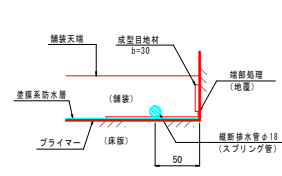
堤原橋1 橋面工 (1)



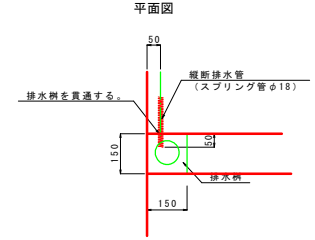
舗装構成図 S=1:3



縦断排水、端部防水詳細図 S=1:3



縦断排水管取付詳細図 S=1:10



橋面数量

名 称	施 工 内 容	単 位	数 量	備 考
橋面舗装	アスファルト舗装	m ²	67.7	
防 水 層	塗膜系防水層	m ²	67.7	
プライマー		m ²	67.7	
縦断排水管	スプリング管φ18	m	35.1	排水管は、 現場高に 合わせて 調整する。
成型目地材		m	51.6	セロバンテープ 等を使用。
端部処理		m	51.6	シルバークラウド 等を使用。

注：施工前に現況状況及び寸法等を調査し、図面照合の確認を行うこと。

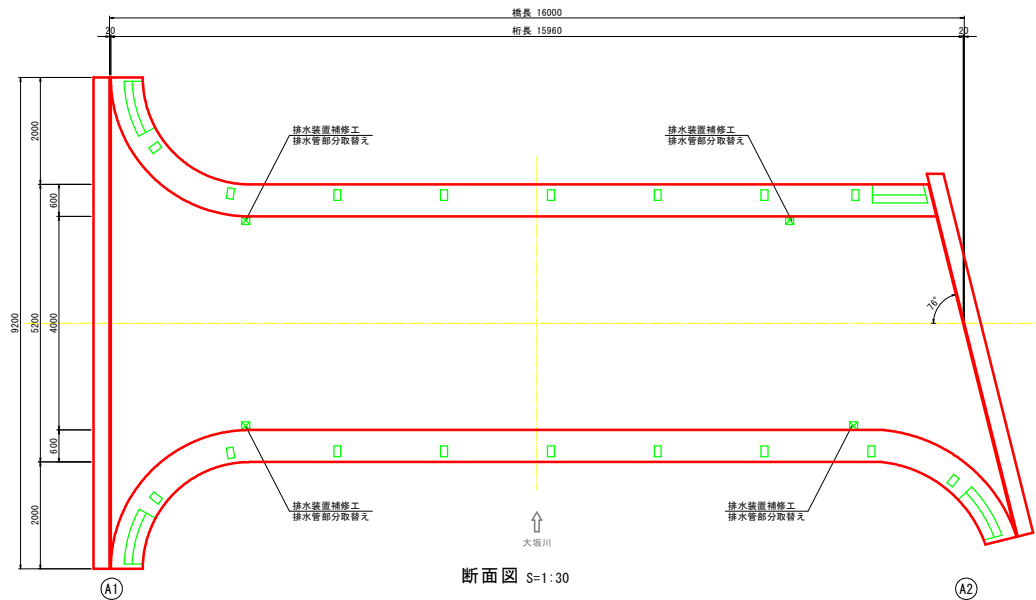
注 記

1. 本図は道路台帳、簡易測量を基に作成しているため、工事着手時に形状寸法を測定し、構造図の補正をおこなった後に作業を実施すること。

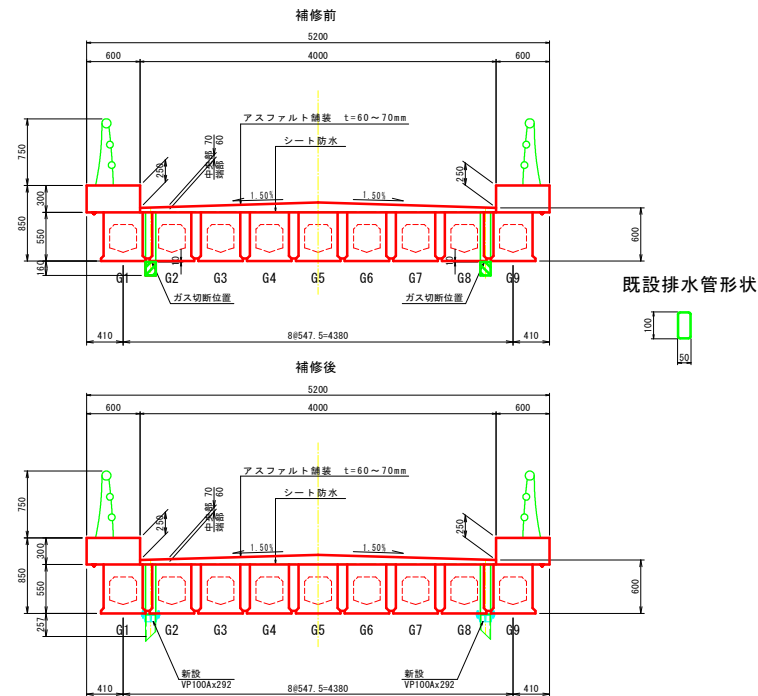
工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務
図面名	堤原橋1 橋面工 (1)
作成年月日	
縮尺	図示
図面番号	2 / 12
会社名	
事業者名	みやこ町 都市整備課

堤原橋1 橋面工 (2)

平面図 S=1:50



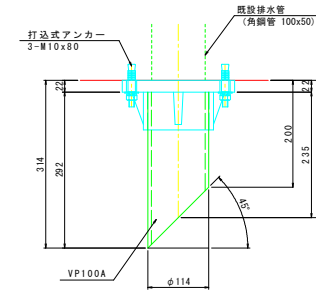
断面図 S=1:30



既設排水管形状

排水装置補修工詳細図 S=1:5

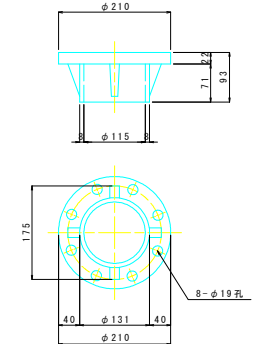
製作数: 4



排水装置補修工 数量表

名称・規格	単位	数量	合計
TSフランジ (φ100用)	個	4	4
排水管 (VP100A)	m	4x0.292=1.168	1.17
打込み式アンカー M10x80 (垂鉛メッキ)	本	12	12

TSフランジ詳細図 S=1:5

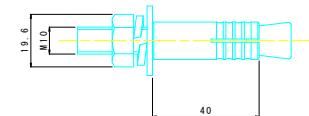


※床版への固定は1箇所につき3本のアンカーボルトを使用する。

打込み式アンカー詳細 S=1:1

M10x80

製作数: 12



注記)

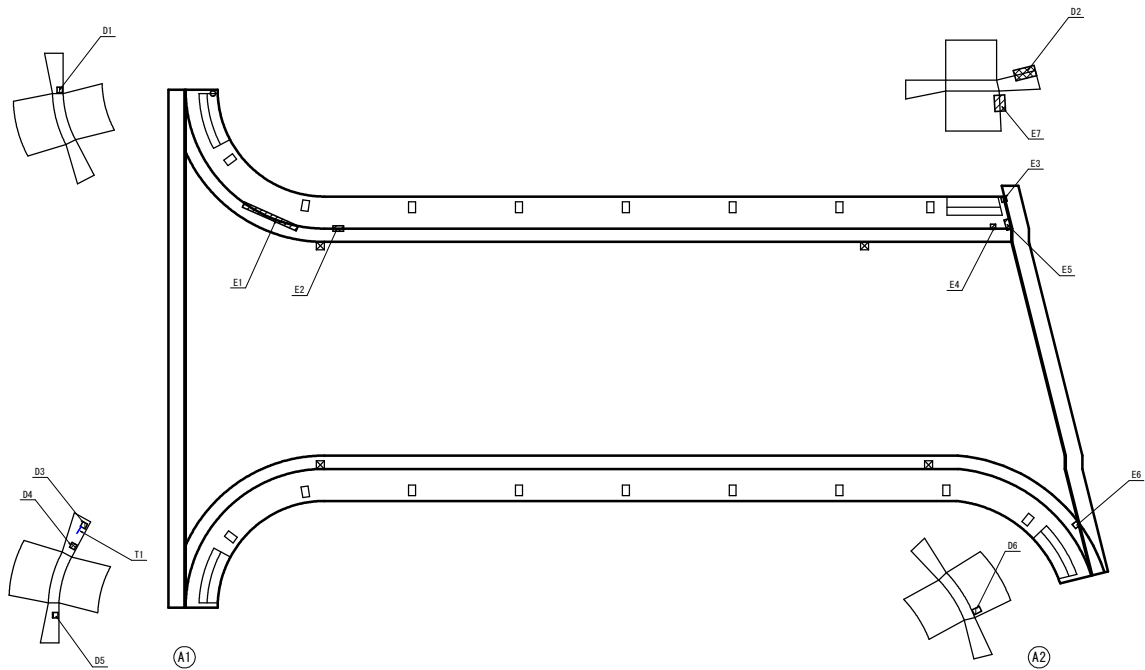
1. 本図は道路台帳、簡易測量を基に作成しているため、工事着手時に形状寸法を要調査し、横道線の補正をおこなった後に作業を実施すること。
2. 打込みアンカーを施工する場合、鉄筋検査を行いアンカー位置を決定すること。

工事名	堤原橋外2線 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 橋面工 (2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	3 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

堤原橋1 補修図（1）

損傷記号	
補修の種類	表示
ひびわれ (0.2mm～1.0mm未満)	T
ひびわれ (1.0mm以上)	J
断面修復 (防錆処理有り)	D
断面修復 (防錆処理無し)	E

橋面 S=1:50



橋面 ひびわれ注入工数量表
(0.2～1.0mm未満) (土木用エポキシ樹脂注入材3種)

補修位置	整理番号	損傷数量			合計 (m)
		幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
観柱	T1	0.20	150	1	0.150
合 計					0.150

橋面 断面修復工数量表
※鉄筋防錆処理必要 (断面修復深さ=鉄筋純径+鉄筋径+余裕=30+13+10≒60mm)

補修箇所	番 号	損傷数量			合計 (㎡)
		範囲 (mm)	箇所		
観柱	D1	100 × 100 × 1			0.010
観柱	D2	200 × 400 × 1			0.080
観柱	D3	100 × 100 × 1			0.010
観柱	D4	100 × 100 × 1			0.010
観柱	D5	100 × 100 × 1			0.010
観柱	D6	100 × 150 × 1			0.015
小 計					0.135

橋面 断面修復工数量表
※鉄筋防錆処理不要 (断面修復深さ=30mm)

補修箇所	番 号	損傷数量			合計 (㎡)
		範囲 (mm)	箇所		
地覆	E1	1100 × 100 × 1			0.110
地覆	E2	200 × 100 × 1			0.020
地覆	E3	100 × 100 × 1			0.010
地覆	E4	100 × 100 × 1			0.010
地覆	E5	100 × 200 × 1			0.020
地覆	E6	100 × 100 × 1			0.010
観柱	E7	200 × 300 × 1			0.060
小 計					0.240

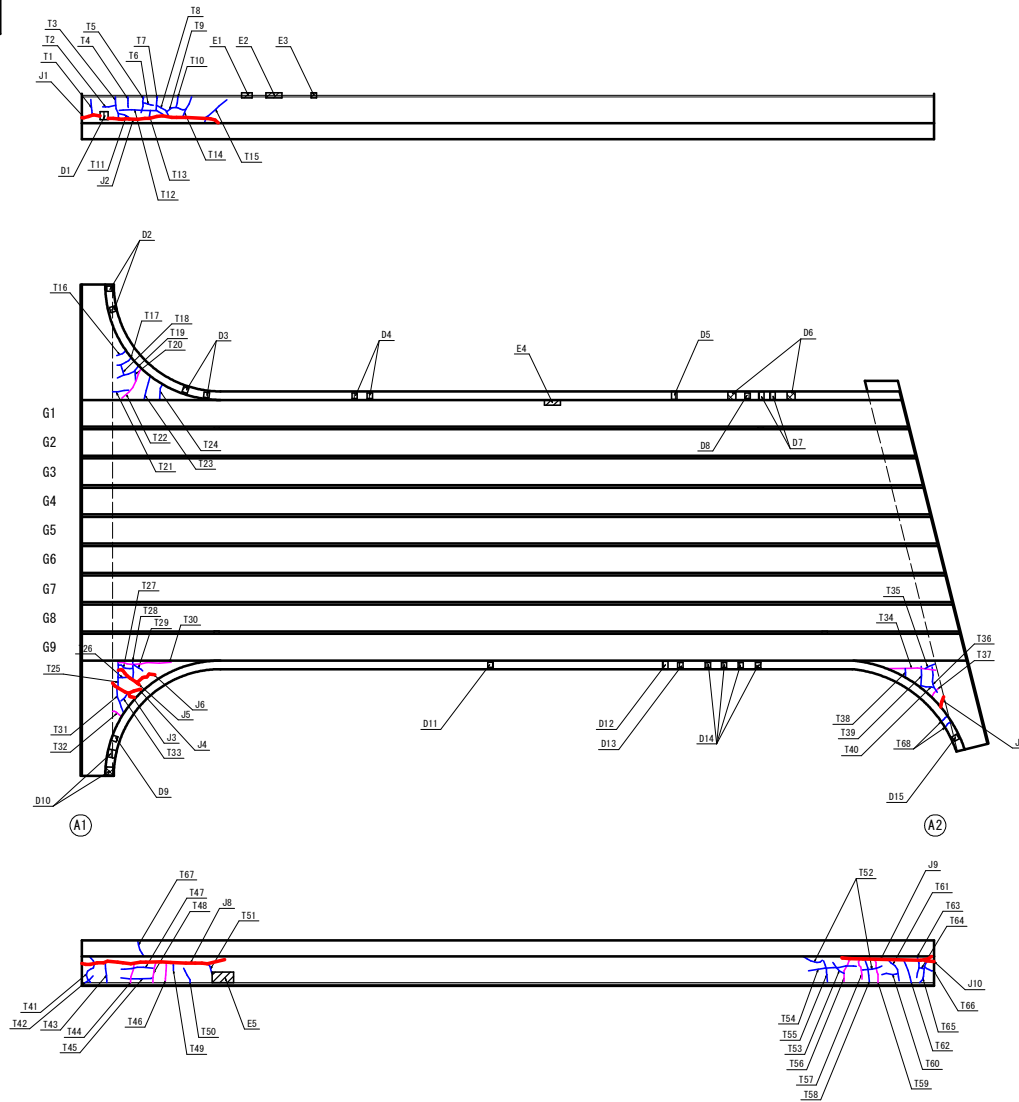
注記)
1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測
再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
2. ひびわれ補修工、断面修復工の範囲は、「即住点検データ」
「現地踏査」等に基づき決めているが、工事に際しては、
劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
3. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督
職員と協議の上同様の対策を実施すること。

工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 補修図(1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

堤原橋1 補修図 (2)

補修の種類	表示
ひびわれ (0.2mm～1.0mm未満)	T
ひびわれ (1.0mm以上)	J
断面修復 (防錆処理有り)	D
断面修復 (防錆処理無し)	E

桁下面 S=1:50



析下面 ひびわれ注入工数量表
(0.2~1.0mm未満) (土木用エポキシ樹脂注入材3種)

樁位位置	整理番号	補償数量			
		幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	合計 (m)
床版	T1	0.20	300	1	0.300
床版	T2	0.20	250	1	0.250
床版	T3	0.20	400	1	0.400
床版	T4	0.30	200	1	0.200
床版	T5	0.20	300	1	0.300
床版	T6	0.30	200	1	0.200
床版	T7	0.20	400	1	0.400
床版	T8	0.20	300	1	0.300
床版	T9	0.30	400	1	0.400
床版	T10	0.40	200	1	0.200
床版	T11	0.30	200	1	0.200
床版	T12	0.20	700	1	0.700
床版	T13	0.20	150	1	0.150
床版	T14	0.20	400	1	0.400
床版	T15	0.20	600	1	0.600
床版	T16	0.30	200	1	0.200
床版	T17	0.30	300	1	0.300
床版	T18	0.30	200	1	0.200
床版	T19	0.40	450	1	0.450
床版	T20	0.20	200	1	0.200
床版	T21	0.30	300	1	0.300
床版	T22	0.60	650	1	0.650
床版	T23	0.40	450	1	0.450
床版	T24	0.20	300	1	0.300
床版	T25	0.30	500	1	0.500
床版	T26	0.50	200	1	0.200
床版	T27	0.30	300	1	0.300
床版	T28	0.30	350	1	0.350
床版	T29	0.20	200	1	0.200
床版	T30	0.50	1000	1	1.000
床版	T31	0.20	500	1	0.500
床版	T32	0.20	200	1	0.200
床版	T33	0.20	200	1	0.200
床版	T34	0.60	900	1	0.900
床版	T35	0.50	200	1	0.200
床版	T36	0.30	500	1	0.500
床版	T37	0.20	200	1	0.200
床版	T38	0.20	150	1	0.150
床版	T39	0.30	400	1	0.400
床版	T40	0.30	250	1	0.250
床版	T41	0.30	600	1	0.600
床版	T42	0.20	200	1	0.200
床版	T43	0.20	400	1	0.400
床版	T44	0.50	350	1	0.350
床版	T45	0.30	600	1	0.600
床版	T46	0.50	350	1	0.350
床版	T47	0.30	600	1	0.600
床版	T48	0.70	400	1	0.400
床版	T49	0.30	150	1	0.150
床版	T50	0.20	300	1	0.300
床版	T51	0.20	200	1	0.200
床版	T52	0.30	400	2	0.800
床版	T53	0.20	300	1	0.300
床版	T54	0.30	900	1	0.900
床版	T55	0.60	400	1	0.400
床版	T56	0.50	450	1	0.450
床版	T57	0.20	400	1	0.400
床版	T58	0.20	400	1	0.400
床版	T59	0.80	450	1	0.450
床版	T60	0.20	300	1	0.300
床版	T61	0.40	450	1	0.450
床版	T62	0.30	450	1	0.450
床版	T63	0.20	400	1	0.400
床版	T64	0.20	100	1	0.100
床版	T65	0.20	450	1	0.450
床版	T66	0.30	200	1	0.200
地盤	T67	0.20	300	1	0.300
地盤	T68	0.20	150	2	0.300
合 計					25.300

桁下面 ひびわれ充填工数量表
(1.0mm以上) (土木補修用シーラント系充填剤)

椅位位置	整理番号	椅座数量			
		幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	合計 (㎡)
床座	J1	2.00	350	1	0.350
床座	J2	1.00	2100	1	2.100
床座	J3	1.00	150	1	0.150
床座	J4	1.00	600	1	0.600
床座	J5	1.00	500	1	0.500
床座	J6	1.00	400	1	0.400
床座	J7	1.00	200	1	0.200
床座	J8	3.00	2700	1	2.700
床座	J9	3.00	1700	1	1.700
床座	J10	2.00	200	1	0.200
合 計					8.900

析下面 断面修復工数量表

※鉄筋防錆処理必要（断面修復深さ＝鉄筋純被り＋鉄筋径＋余裕＝30＋13＋10≒60mm）

補修箇所	番 号	補修数量			合計 (㎡)
		範囲 (mm)	箇所		
床版	D1	150 × 150 ×	1	0.23	
地覆	D2	100 × 100 ×	2	0.20	
地覆	D3	100 × 100 ×	2	0.20	
地覆	D4	100 × 100 ×	2	0.20	
地覆	D5	100 × 150 ×	1	0.15	
地覆	D6	150 × 150 ×	2	0.45	
地覆	D7	100 × 150 ×	2	0.30	
地覆	D8	100 × 100 ×	1	0.10	
地覆	D9	100 × 100 ×	1	0.10	
地覆	D10	150 × 150 ×	2	0.45	
地覆	D11	100 × 100 ×	1	0.10	
地覆	D12	100 × 150 ×	1	0.15	
地覆	D13	100 × 100 ×	1	0.10	
地覆	D14	100 × 100 ×	4	0.40	
地覆	D15	100 × 100 ×	1	0.10	
小 計					3.23

析下面 断面修復工數量表

※鉄筋防錆処理不要（断面修復深さ=30mm）

補修箇所	番 号	損傷数量			合計 (㎡)
		範囲 (mm)	箇所		
主桁	E1	300 × 100	×	1	0.030
主桁	E2	200 × 100	×	1	0.020
主桁	E3	100 × 100	×	1	0.010
主桁	E4	300 × 100	×	1	0.030
床版	E5	400 × 200	×	1	0.080
小 計					0.170

工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 補修図(2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

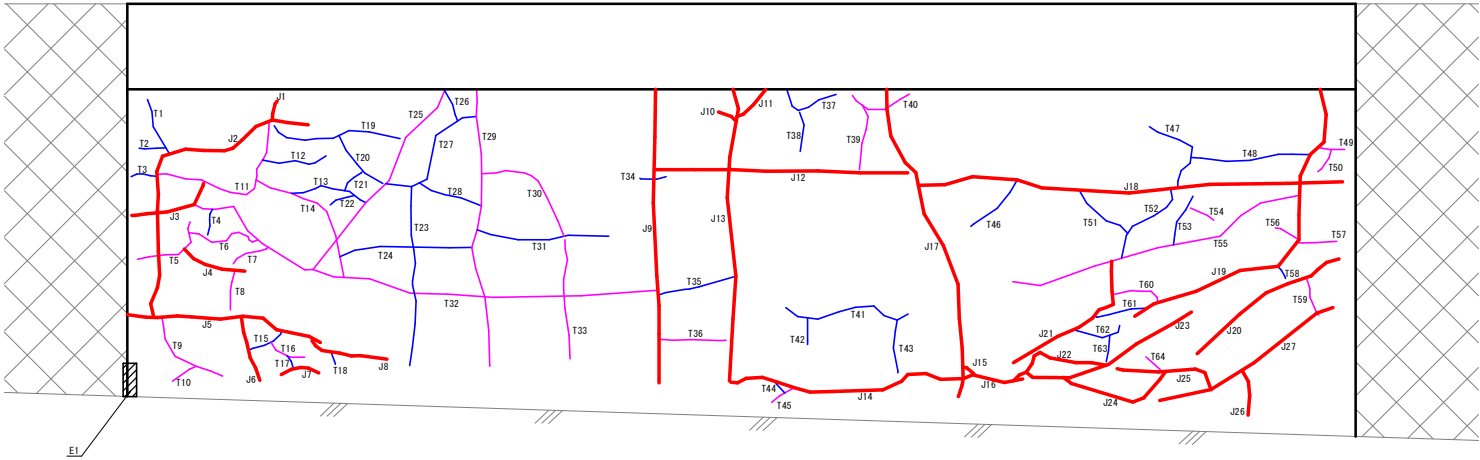
堤原橋1 補修図（3）

下部工（1） S=1:20

A 1 橋台

正面図

損傷記号	
補修の種類	表示
ひびわれ (0.2mm～1.0mm未満)	T
ひびわれ (1.0mm以上)	J
断面修復 (防錆処理有り)	D
断面修復 (防錆処理無し)	E



下部工（A1橋台）ひびわれ注入工数量表
(0.2～1.0mm未満)（土木用エポキシ樹脂注入材1種）

補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m ²)
縦壁	T1	0.30	450	1	0.450
縦壁	T2	0.20	200	1	0.200
縦壁	T3	0.20	200	1	0.200
縦壁	T4	0.20	200	1	0.200
縦壁	T5	0.70	600	1	0.600
縦壁	T6	0.50	600	1	0.600
縦壁	T7	0.50	300	1	0.300
縦壁	T8	0.60	300	1	0.300
縦壁	T9	0.80	700	1	0.700
縦壁	T10	0.50	200	1	0.200
縦壁	T11	0.80	1300	1	1.300
縦壁	T12	0.20	500	1	0.500
縦壁	T13	0.30	600	1	0.600
縦壁	T14	0.50	1100	1	1.100
縦壁	T15	0.30	300	1	0.300
縦壁	T16	0.50	300	1	0.300
縦壁	T17	0.20	100	1	0.100
縦壁	T18	0.30	100	1	0.100
縦壁	T19	0.20	1000	1	1.000
縦壁	T20	0.40	500	1	0.500
縦壁	T21	0.20	200	1	0.200
縦壁	T22	0.20	200	1	0.200
縦壁	T23	0.30	1350	1	1.350
縦壁	T24	0.40	1000	1	1.000
縦壁	T25	0.50	1700	1	1.700
縦壁	T26	0.20	250	1	0.250
縦壁	T27	0.30	1000	1	1.000
縦壁	T28	0.20	500	1	0.500
縦壁	T29	0.50	2100	1	2.100
縦壁	T30	0.30	900	1	0.900
縦壁	T31	0.20	1000	1	1.000
縦壁	T32	0.50	3700	1	3.700
縦壁	T33	0.30	900	1	0.900
縦壁	T34	0.20	200	1	0.200
縦壁	T35	0.30	600	1	0.600

補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m ²)
縦壁	T36	0.50	500	1	0.500
縦壁	T37	0.30	500	1	0.500
縦壁	T38	0.20	300	1	0.300
縦壁	T39	0.50	500	1	0.500
縦壁	T40	0.50	500	1	0.500
縦壁	T41	0.20	1000	1	1.000
縦壁	T42	0.20	200	1	0.200
縦壁	T43	0.20	400	1	0.400
縦壁	T44	0.30	100	1	0.100
縦壁	T45	0.50	200	1	0.200
縦壁	T46	0.20	500	1	0.500
縦壁	T47	0.30	700	1	0.700
縦壁	T48	0.20	900	1	0.900
縦壁	T49	0.50	200	1	0.200
縦壁	T50	0.50	200	1	0.200
縦壁	T51	0.20	500	1	0.500
縦壁	T52	0.20	700	1	0.700
縦壁	T53	0.30	400	1	0.400
縦壁	T54	0.50	200	1	0.200
縦壁	T55	0.50	2300	1	2.300
縦壁	T56	0.50	200	1	0.200
縦壁	T57	0.50	300	1	0.300
縦壁	T58	0.20	100	1	0.100
縦壁	T59	0.70	300	1	0.300
縦壁	T60	0.50	400	1	0.400
縦壁	T61	0.20	400	1	0.400
縦壁	T62	0.30	400	1	0.400
縦壁	T63	0.30	200	1	0.200
縦壁	T64	0.50	150	1	0.150
合 計					38.400

下部工（A1橋台）ひびわれ充填工数量表
(1.0mm以上)（ポリマーセメントモルタル）

補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m ²)
縦壁	J1	1.00	150	1	0.150
縦壁	J2	1.00	2400	1	2.400
縦壁	J3	5.00	650	1	0.650
縦壁	J4	1.00	500	1	0.500
縦壁	J5	1.00	1500	1	1.500
縦壁	J6	1.00	500	1	0.500
縦壁	J7	1.00	300	1	0.300
縦壁	J8	1.00	600	1	0.600
縦壁	J9	1.80	2200	1	2.200
縦壁	J10	1.00	150	1	0.150
縦壁	J11	1.00	300	1	0.300
縦壁	J12	1.00	1900	1	1.900
縦壁	J13	3.00	2200	1	2.200
縦壁	J14	1.50	1800	1	1.800
縦壁	J15	2.00	100	1	0.100
縦壁	J16	5.00	600	1	0.600
縦壁	J17	5.00	2300	1	2.300
縦壁	J18	1.00	3200	1	3.200
縦壁	J19	4.00	2600	1	2.600
縦壁	J20	2.00	1300	1	1.300
縦壁	J21	1.00	1200	1	1.200
縦壁	J22	2.00	700	1	0.700
縦壁	J23	4.00	1500	1	1.500
縦壁	J24	2.00	900	1	0.900
縦壁	J25	1.30	800	1	0.800
縦壁	J26	1.00	350	1	0.350
縦壁	J27	5.00	1500	1	1.500
合 計					32.200

下部工（A1橋台）断面修復工数量表
※鉄筋防錆処理不要（断面修復深さ≦30mm）

補修箇所	番 号	損傷数量					
		範囲(mm)		箇所	合計(m ²)		
縦壁	E1	100	×	250	×	1	0.025
小 計							0.025

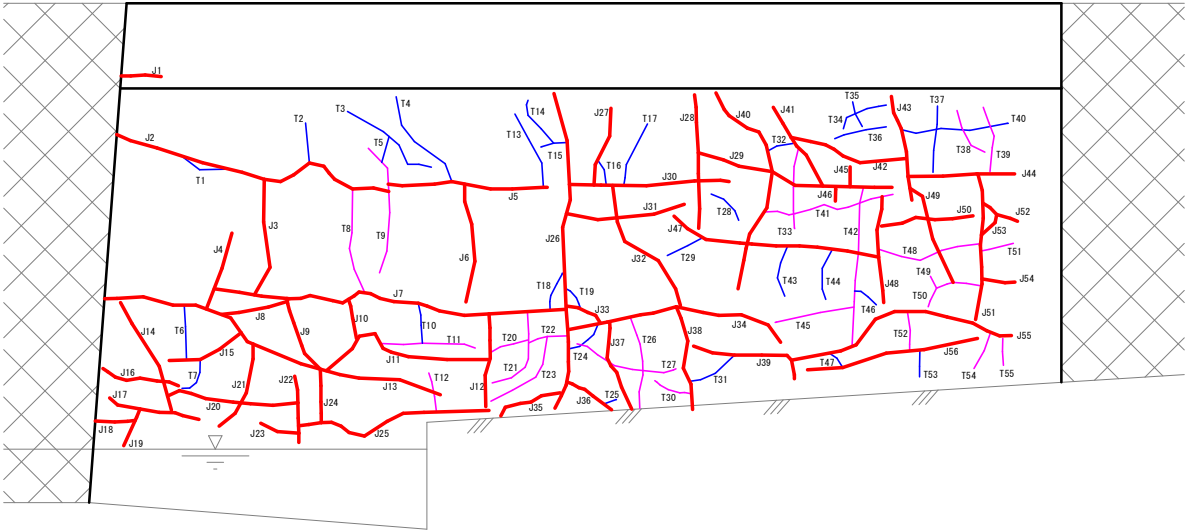
工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 補修図(3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

堤原橋1 補修図（４）

下部工（２） S=1:20

A 2 橋台

正面図



下部工（A2橋台）ひびわれ注入工数量表
(0.2～1.0mm未満) (土木用エポキシ樹脂注入材1種)

補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m)
縦壁	T1	0.30	400	1	0.400
縦壁	T2	0.20	300	1	0.300
縦壁	T3	0.30	800	1	0.800
縦壁	T4	0.40	800	1	0.800
縦壁	T5	0.40	200	1	0.200
縦壁	T6	0.40	400	1	0.400
縦壁	T7	0.30	300	1	0.300
縦壁	T8	0.50	800	1	0.800
縦壁	T9	0.60	1000	1	1.000
縦壁	T10	0.30	300	1	0.300
縦壁	T11	0.50	700	1	0.700
縦壁	T12	0.80	300	1	0.300
縦壁	T13	0.20	600	1	0.600
縦壁	T14	0.20	400	1	0.400
縦壁	T15	0.20	200	1	0.200
縦壁	T16	0.30	200	1	0.200
縦壁	T17	0.20	500	1	0.500
縦壁	T18	0.20	300	1	0.300
縦壁	T19	0.30	200	1	0.200
縦壁	T20	0.60	300	1	0.300
縦壁	T21	0.60	700	1	0.700
縦壁	T22	0.80	300	1	0.300
縦壁	T23	0.80	700	1	0.700
縦壁	T24	0.40	300	1	0.300
縦壁	T25	0.20	100	1	0.100
縦壁	T26	0.60	700	1	0.700
縦壁	T27	0.50	800	1	0.800
縦壁	T28	0.20	300	1	0.300
縦壁	T29	0.30	300	1	0.300
縦壁	T30	0.50	300	1	0.300
縦壁	T31	0.40	400	1	0.400
縦壁	T32	0.40	200	1	0.200
縦壁	T33	0.80	600	1	0.600
縦壁	T34	0.20	400	1	0.400
縦壁	T35	0.20	200	1	0.200

補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m)
縦壁	T36	0.40	400	1	0.400
縦壁	T37	0.40	500	1	0.500
縦壁	T38	0.60	400	1	0.400
縦壁	T39	0.80	500	1	0.500
縦壁	T40	0.40	800	1	0.800
縦壁	T41	0.80	1000	1	1.000
縦壁	T42	0.80	1200	1	1.200
縦壁	T43	0.30	400	1	0.400
縦壁	T44	0.40	400	1	0.400
縦壁	T45	0.60	600	1	0.600
縦壁	T46	0.20	200	1	0.200
縦壁	T47	0.30	150	1	0.150
縦壁	T48	0.80	800	1	0.800
縦壁	T49	0.60	100	1	0.100
縦壁	T50	0.80	500	1	0.500
縦壁	T51	0.50	250	1	0.250
縦壁	T52	0.50	300	1	0.300
縦壁	T53	0.30	200	1	0.200
縦壁	T54	0.50	300	1	0.300
縦壁	T55	0.50	200	1	0.200
		合 計			24.500

下部工（A2橋台）ひびわれ充填工数量表
(1.0mm以上) (ポリマーセメントモルタル)

補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m)
縦壁	J1	2.00	300	1	0.300
縦壁	J2	1.00	2200	1	2.200
縦壁	J3	1.00	900	1	0.900
縦壁	J4	2.00	600	1	0.600
縦壁	J5	2.00	1200	1	1.200
縦壁	J6	1.50	900	1	0.900
縦壁	J7	4.00	2700	1	2.700
縦壁	J8	4.00	500	1	0.500
縦壁	J9	1.00	600	1	0.600
縦壁	J10	1.00	300	1	0.300
縦壁	J11	4.00	1400	1	1.400
縦壁	J12	1.00	700	1	0.700
縦壁	J13	8.00	2700	1	2.700
縦壁	J14	2.00	900	1	0.900
縦壁	J15	3.00	600	1	0.600
縦壁	J16	2.00	600	1	0.600
縦壁	J17	1.00	700	1	0.700
縦壁	J18	1.00	300	1	0.300
縦壁	J19	1.00	300	1	0.300
縦壁	J20	2.00	1000	1	1.000
縦壁	J21	2.00	700	1	0.700
縦壁	J22	1.00	500	1	0.500
縦壁	J23	1.00	300	1	0.300
縦壁	J24	2.00	400	1	0.400
縦壁	J25	1.00	1500	1	1.500
縦壁	J26	4.00	2400	1	2.400
縦壁	J27	1.00	600	1	0.600
縦壁	J28	1.00	1000	1	1.000
縦壁	J29	1.00	1500	1	1.500
縦壁	J30	2.00	1200	1	1.200
縦壁	J31	1.00	900	1	0.900
縦壁	J32	1.50	1100	1	1.100
縦壁	J33	2.00	300	1	0.300
縦壁	J34	3.00	1700	1	1.700
縦壁	J35	2.00	500	1	0.500

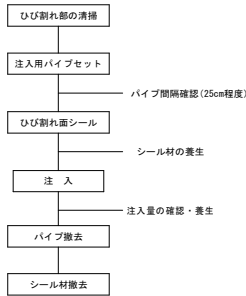
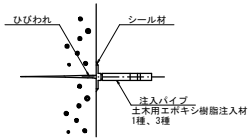
補修位置	整理番号	損傷数量			
		幅(mm)	長さ(mm)	箇所	合計(m)
縦壁	J36	1.00	400	1	0.400
縦壁	J37	1.00	700	1	0.700
縦壁	J38	1.00	800	1	0.800
縦壁	J39	1.00	900	1	0.900
縦壁	J40	2.00	1700	1	1.700
縦壁	J41	1.50	700	1	0.700
縦壁	J42	2.00	900	1	0.900
縦壁	J43	2.00	800	1	0.800
縦壁	J44	3.00	800	1	0.800
縦壁	J45	1.00	150	1	0.150
縦壁	J46	1.00	100	1	0.100
縦壁	J47	1.00	1600	1	1.600
縦壁	J48	1.00	800	1	0.800
縦壁	J49	1.00	800	1	0.800
縦壁	J50	2.00	700	1	0.700
縦壁	J51	2.00	1100	1	1.100
縦壁	J52	2.00	300	1	0.300
縦壁	J53	1.00	200	1	0.200
縦壁	J54	1.00	250	1	0.250
縦壁	J55	3.00	1800	1	1.800
縦壁	J56	2.00	1300	1	1.300
		合 計			50.800

工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 補修図(4)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	7 / 12
会社名			
事業所名	みやこ町 都市整備課		

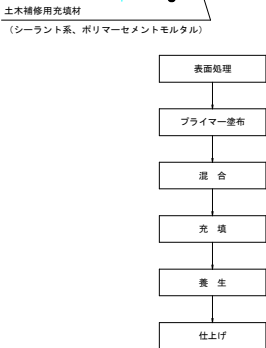
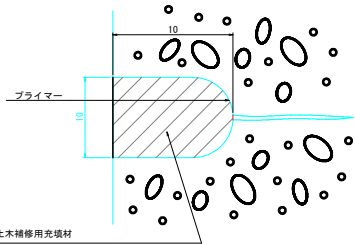
堤原橋1 補修図（5）

ひびわれ補修工

ひびわれ注入工法

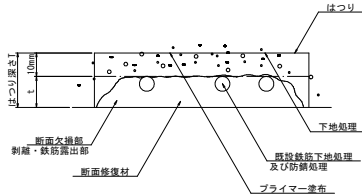


ひびわれ充填工

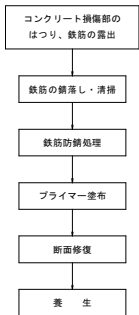


断面修復工法

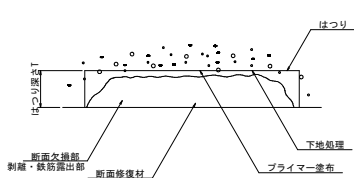
防錆処理が必要な場合



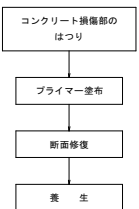
※上図 t はかぶり厚（現地結果）とする。（T = かぶり + 10mm）
ただし、かぶりが不明な場合は T = 60mm とする。



防錆処理が不要な場合



※はつり深さ T は 30mm とする。



補修材の要求性能

（この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする）

ひびわれ補修材の性能例		（試験温度 20℃）			
		注 入 材		充 填 材	
項目	材料の種類	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 1種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 2種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 3種	土木補修用 充填材 ポリマー セメント系
		8	8	A	B
ひびわれ進行速度 ^{※1}		0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<
ひびわれ幅 (mm)		0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<
粘 度 (mPa・s)		1,000以下	4±1 ^{※2}	1,000以下	10,000以下
可硬時間 (分)		30以上	30以上	30以上	30以上
硬化時間 (時間)		16以内	16以内	24以内	24以内
硬化収縮 (%)		0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下
伸 び 率 (%)		—	50以上	100以上	—
モルタル付着強さ （乾燥面）(N/mm ²)		6以上	6以上	6以上	6以上
付着力耐久保持率 (%) ^{※3}		60以上	60以上	60以上	60以上

※1：A=ひびわれが進行している、B=ひびわれの進行が止まった
※2：チキントロピック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。
※3：規格に対する百分率

出典：「ひびわれ調査・補修・補強設計：日本コンクリート工学会」P.128

補修材の要求性能

（この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする）

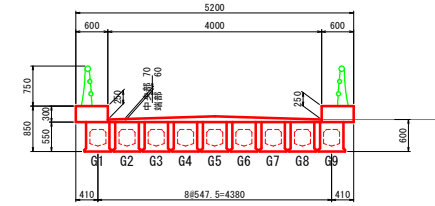
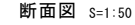
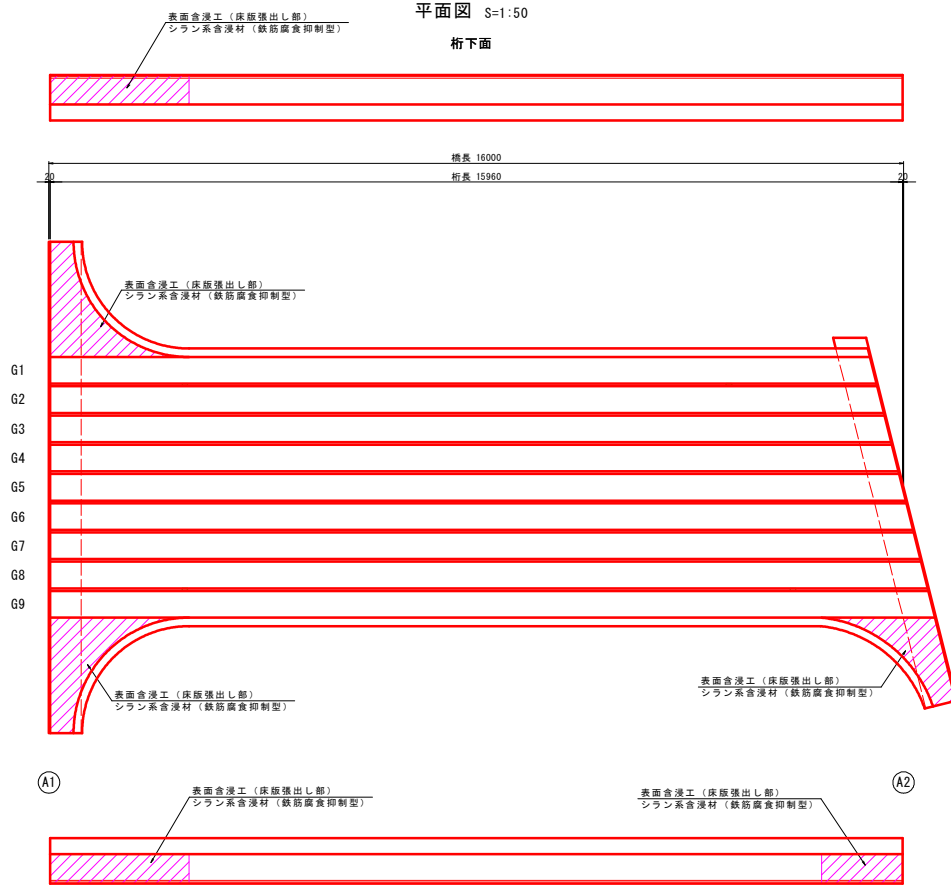
ひびわれ補修材の性能例		（試験温度 20℃）			
		注 入 材		充 填 材	
項目	材料の種類	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 1種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 2種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 3種	土木補修用 充填材 ポリマー セメント系
		8	8	A	B
ひびわれ進行速度 ^{※1}		0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<
ひびわれ幅 (mm)		0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<
粘 度 (mPa・s)		1,000以下	4±1 ^{※2}	1,000以下	10,000以下
可硬時間 (分)		30以上	30以上	30以上	30以上
硬化時間 (時間)		16以内	16以内	24以内	24以内
硬化収縮 (%)		0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下
伸 び 率 (%)		—	50以上	100以上	—
モルタル付着強さ （乾燥面）(N/mm ²)		6以上	6以上	6以上	6以上
付着力耐久保持率 (%) ^{※3}		60以上	60以上	60以上	60以上

※1：A=ひびわれが進行している、B=ひびわれの進行が止まった
※2：チキントロピック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。
※3：規格に対する百分率

抜粋：「表面保護工法 設計施工指針（案）：土木学会」

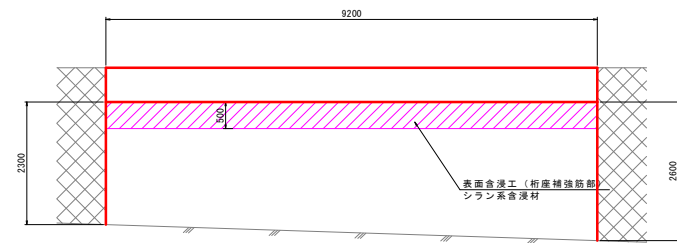
工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務
図面名	堤原橋1 補修図(5)
作成年月日	
縮尺	図示
図面番号	8 / 12
会社名	
事業所名	みやこ町 都市整備課

堤原橋1 表面含浸工

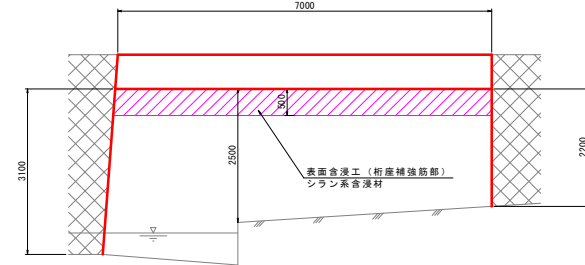


下部工図 S=1:50

A 1 橋台



A 2 橋台



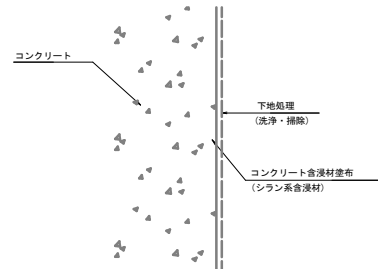
表面含浸工詳細図

セラム系表面含浸材の性能		
評価項目		評価基準
性 能	評価項目、評価値 (%)	
外 観	外観変化	外観を黄変させないこと
含浸深さ	含浸率	4.0mm以上
造水に対する抵抗性	造水抑制率	80%以上 (グレードA)
排水性に対する抵抗性	排水抑制率	80%以上 (グレードA)
透湿性	透湿比	60~80%以上 (グレードB)
中性化に対する抵抗性	中性化抑制率	10%以下 (グレードC)
塩化物イオン浸透抵抗性	塩化物イオン浸透抑制率	80%以下 (グレードD)

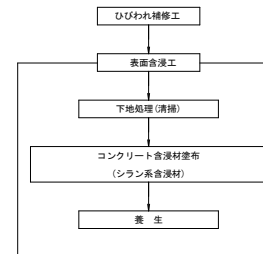
注-1: 試験方法は「コンクリート標準示方書 表面含浸材の試験方法 (JSCE-K571-2013)」によること

注-2：含浸深さについては基準値を示されていないが、「NEXCO構造物施工管理要領 シラン系コンクリート表面含浸材の要求性能」を引用して4.0mm以上とした

抜粋：「表面保護工法 設計施工指針（案）：土木学会」p. 165～p. 167



施工手順



表面含浸工数量表 (上部工)

項 目	規 格	単 位	数 量	備
下地処理	高圧洗浄	m2	9.01	
表面含浸工	シラン系含浸材（鉄筋腐食抑制型）	m2	9.01	

表面含浸工数量表 (下部工)

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
下地処理	高圧洗浄	m2	8.13	
表面含浸工	シラン系含浸材	m2	8.13	

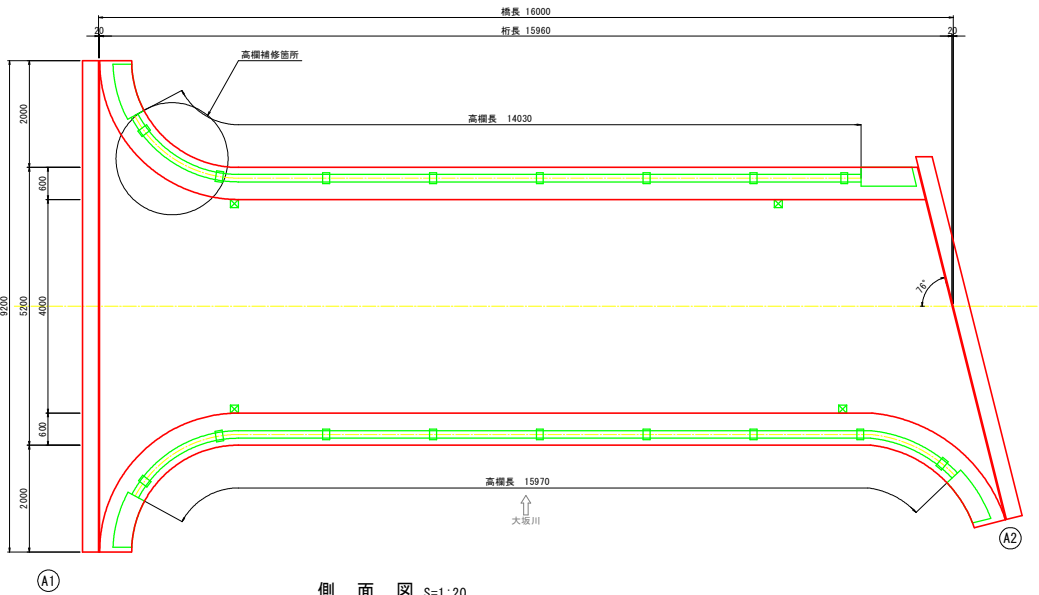
注記)

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測
再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
2. 表面露出工の範囲は、「即点ご検データ」、「現地踏査」
等に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲
の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
3. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合、監督
職員と協議の上同様の対策を実施すること。

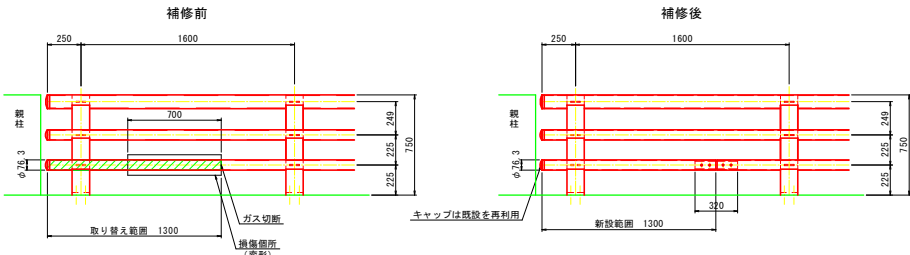
工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋！ 表面含浸工		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	9 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

堤原橋1 防護柵工

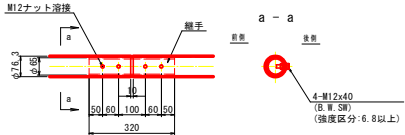
平面図 S=1:50



側面図 S=1:20



継手部詳細 S=1:10



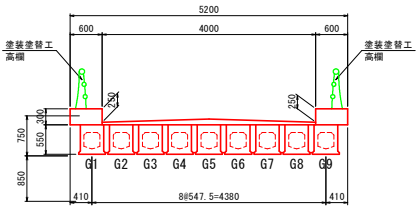
材料表 (撤去部材)

名称	寸法	材質	単重	数量	重量
レール	φ76.3×3.2 t	STK400	5.77	1.300 m	7.50
				合計	7.50 kg
既設レール撤去区間長 L= 1.300 m					

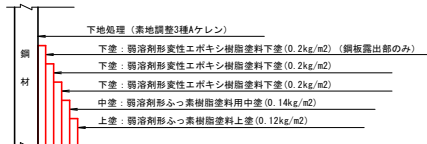
材料表 (新設部材)

名称	寸法	材質	単重	数量	重量
レール	φ76.3×3.2 t	STK400	5.77	1.300 m	7.50
継手 (下段用)	φ65×4 t X320 (N付)	STK400	1.94	1.0 本	1.94
止メバルト (下段用)	M12×40 (B.W. SW)	強度区分6.8以上	0.06	4.0 本	0.24
				合計	9.68 kg
レール取替区間長 L= 1.300 m					
曲げ処理 L= 1.300 m (R=10m以上150m以下)					

断面図 S=1:50



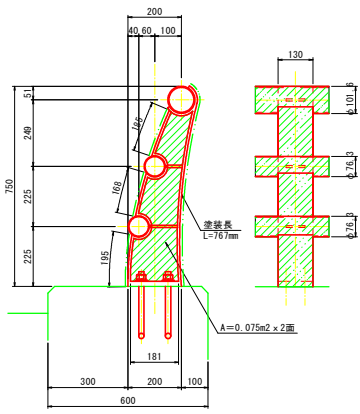
Rc-III塗装系



※ 施工手順

- 1 下地処理：素地調整3種A
- 2 下塗り：(1) 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (0.2kg/m²) (鋼板露出部のみ)
(2) 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (0.2kg/m²)
(3) 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (0.2kg/m²)
- 3 中塗り：弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗り (0.14kg/m²)
- 4 上塗り：弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗り (0.12kg/m²)
- 5 施工完了：養生

塗装範囲 S=1:10



塗装塗替工 (Rc-III)

名称	図示 (縦mm×横mm)	面積 (m ²)
防護柵		30.12

※面積の詳細は数量計算書にて計上

Rc-III塗装系 (はけ・ローラー)

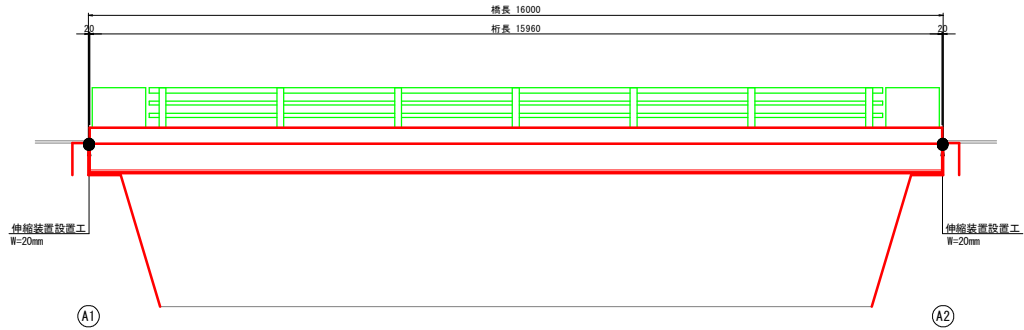
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装期間
素地調整	3種		4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (鋼板露出部のみ)	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日～10日
中塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗り	140	1日～10日
上塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗り	120	1日～10日

- 注記
- 1 施工前には必ず現況寸法を再計し、施工寸法を確認すること。
 - 2 塗装仕様は「鋼道路橋防食便覧H26.3 (日本道路協会)」に準拠すること。
 - 3 塗装作業時は、塗料が飛散しないよう防護を行うこと。
 - 4 塗り重ねは、前塗料が十分に乾燥した後行うこと。

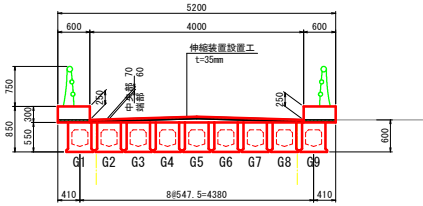
工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務
図面名	堤原橋1 防護柵工
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 10 / 12
会社名	
事業名	みやこ町 都市整備課

堤原橋1 伸縮装置取替工

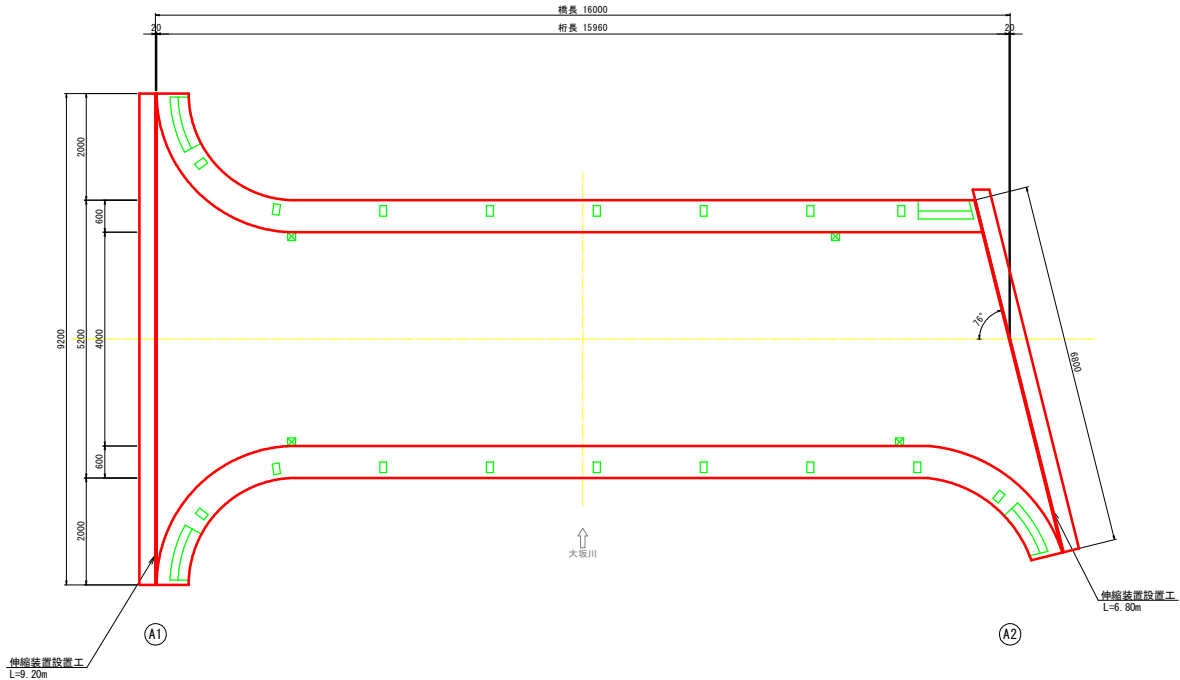
側面図 S=1:50



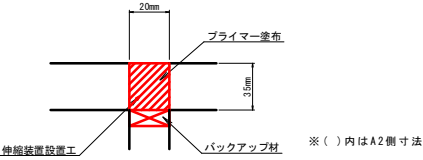
断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



橋梁用目地補修工 S=1:2



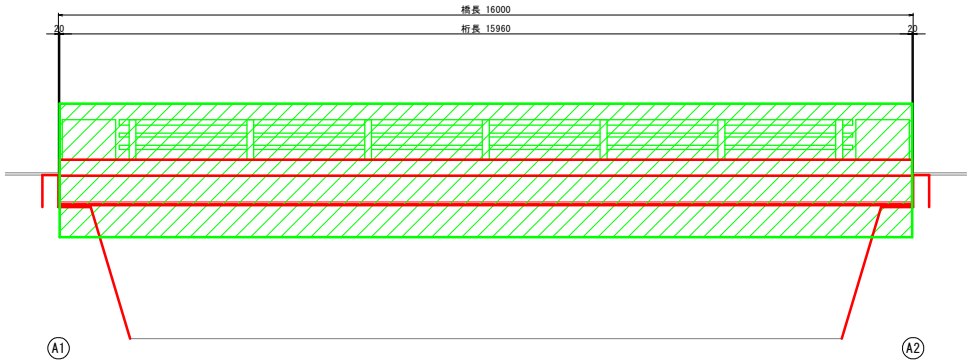
使用材料数量表 (施工幅20mm 施工厚35mm)

名 称	品 名	数 量	備 考
伸縮装置設置工	特殊ウレタン樹脂	7.77 l	
プライマー	専用プライマー	105.0 ml	
バックアップ材	バックアップ材	16.0 m	

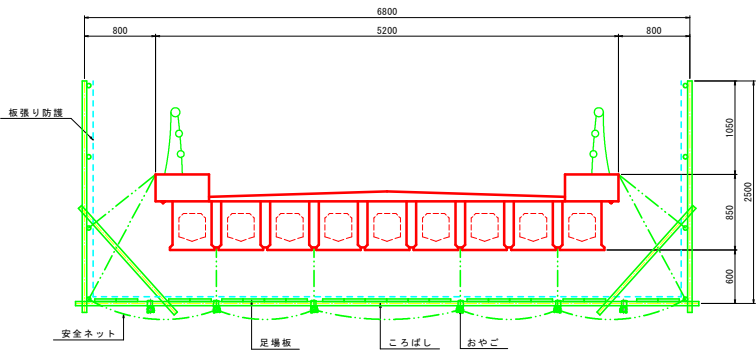
工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 伸縮装置取替工		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	11 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		

堤原橋1 仮設工

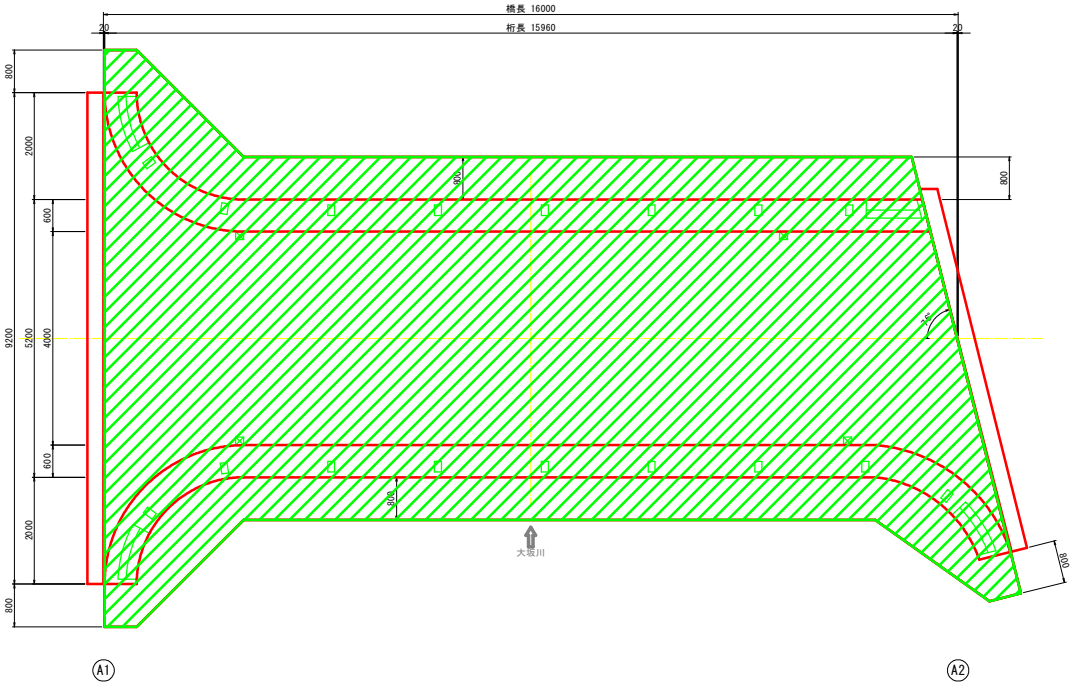
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



足場工数量 TYPE A1+B

細目	細目	計算式	単位	数量	備考
足場工	吊足場	CAD計測より	m ²	117.2	
	板張り防護工	CAD計測より	m ²	117.2	

※ 設計において仮設方法は、発注者との協議により単管足場で計画している。
※ 詳細は安全性・施工性を考慮して発注者や水路管理者との協議により決定すること。
※ 現地計測の上、施工を行うこと。

【注記】
1. 既設構造物寸法・形状は工事に先立ち再計測
再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
2. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された
場合、監督員と協議の上同様に対策を実施すること。

工事名	堤原橋外2橋 橋梁補修調査設計業務		
図面名	堤原橋1 仮設工		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	12 / 12
会社名			
事業者名	みやこ町 都市整備課		